

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

11298

文化財保護事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化財保護費		
	大事業	文化財保護事業		
中事業	文化財保護事業			

事業種別	継続		関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	宮脇 進 435-1194
事業実施の根拠法令	和歌山市文化財保護条例		関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要				
	市内所在の文化遺産を適切に保存整備し、継承、活用を行う。		文化財保護審議会を開催し、事業について指導を受ける。和歌山市指定文化財を指定する。文化財案内板の設置、文化財資料の貸出等を行い文化財の活用を図る。				
事業内容			令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
			文化財保護審議会の開催、文化財パンフレットの作成、資料の貸出及び案内板の設置、文化財の保存修理。	文化財保護審議会の開催、資料の貸出及び案内板の設置、文化財の保存修理。	文化財保護審議会の開催、資料の貸出及び案内板の設置、文化財の保存修理。	文化財保護審議会の開催、資料の貸出及び案内板の設置、文化財の保存修理。	文化財保護審議会の開催、資料の貸出及び案内板の設置、文化財の保存修理。

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	14,454	11,798	80,065	79,545	67,357	60,319	64,463	0	64,463	0
伸び率(%)	3%	△21.5%	453.9%	574.2%	△15.9%	△24.2%	△4.3%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	10,431	6,131	5,973	23,194	21,764	20,418	22,064	0	22,064
	正規職員以外	2,618	2,124	2,703	1,446	0	0	0	0	0
	小計	13,049	8,255	8,676	24,640	21,764	20,418	22,064	0	22,064
国庫支出金	823	593	0	0	0	0	180	0	180	0
県支出金	4	3	0	0	0	0	9	0	9	0
市債	5,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	19	19	19	19	18	21	21	0	21	0
一般財源(税等)	8,608	11,183	80,046	79,526	67,339	60,298	64,253	0	64,253	0
所要人数(人)	正規職員	1.31	0.77	0.77	2.99	2.91	2.73	2.95	0.00	2.95
	正規職員以外	1.42	0.98	1.42	0.63	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	樹木等処分委託料 2,724千円 文化財保護事業委託料 58,986千円 市指定文化財修理修復事業補助金 1,132千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
審議会開催回数		回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
指定文化財維持補修件数		件	目標値	2	2	2	2	2
			実績値	3	5	6		
			達成度(%)	150%	250%	300%	%	%
指定文化財件数及び登録文化財累計件数		件	目標値	269	277	281	285	289
			実績値	283	296	300		
			達成度(%)	101%	105.4%	106.7%	%	%
資料貸出件数		件	目標値					
			実績値	16	21	24		
			達成度(%)	%	%	%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	市内の文化遺産の保存・活用を適切に行い、周知向上に努め、本市の歴史を後世に伝えていく事業である。
見直し・改善内容	市指定文化財について、各分野の候補を文化財保護委員の指導を受け、計画的に指定していくこととした。